

第 **169** 期報告書 2016.1.1-2016.12.31

株主の皆さまへ

トップインタビュー

「地域No.1ソリューション企業」として、
お客さまとつながり続けるために



「地域No.1ソリューション企業」として、 お客さまとつながり続けるために



今期の主な出来事

2016年

- 4月
・SHIZGASでんき 販売開始
・富士発電所稼働
・省エネ家電リース販売開始
・駆けつけサービス いつでもSHIZGAS「すぐいくね」開始
- 5月
・日本政策投資銀行主催「社会的価値・資本創出型M&A
アワード」大賞を受賞
- 6月
・静岡ガス&パワー 富士市地域PPS第一号に認定
・再出荷(リロード)によるLNG販売契約を締結
- 8月
・省エネ診断サービス
「あなたにもっとやさしい暮らし」提供開始
- 11月
・静岡市・パナソニックと「静岡型水素タウン」実現に向けた
包括連携協定を締結
・スタートアップと新規事業を共創する
「Shizuoka Gas Accelerator 2016」開始

2017年

- 1月
・家庭用ガス機器延長保証サービス「備えあれば憂いなし」開始
・シンガポールに現地法人
「SHIZUOKA GAS TRADING PTE. LTD.」を設立
- 2月
・再出荷(リロード)による初のLNG販売
・本社ビル 建築物省エネルギー性能表示制度で
最高ランク評価取得
- 3月
・水素ステーション静岡営業開始

代表取締役社長

と の や ひろし
戸野谷 宏

Q.現在の事業環境をどのように認識していますか。

4月から開始されるガス小売全面自由化により、都市ガス事業は地域間の垣根がなくなり、新しい競争環境を迎えます。さらに人口減少や製造業の海外移転、省エネルギーの進展などによりエネルギー市場は縮小傾向にあり、事業環境はますます厳しくなると予測しています。

このように環境が大きく変化する中、当社グループでは、お客さまの課題解決につながる提案に取り組み、お客さまとつながり続けることで「地域No.1ソリューション企業」として成長していくことを目指しています。

Q.今後の具体的な成長戦略を教えてください。

昨年4月から販売を開始した「SHIZGASでんき」は、お客さま1件1件を訪問し直接ご説明することで、初年度目標の15,000件を上まわる16,200件のお客さまにお選びいただき、順調なスタートを切ることができました。家庭用の暮らし事業では、引き続き「SHIZGASでんき」の普及拡大に努めるとともに、ガス機器延長保証サービスや発電効率が高いSOFC型エネファーム*1な

ど新たな商材やサービスを積極的に提案し、暮らしのニーズに応じていくことで、お客さまとのつながりを一段と深化させていきます。

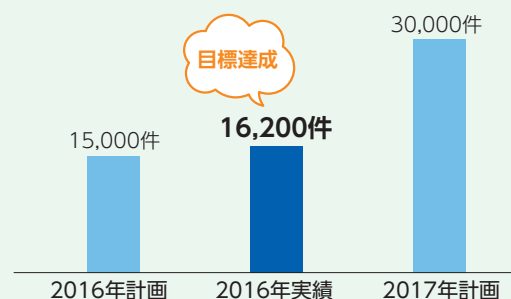
また、マンション内の各住戸に取り付けたエネファームの発電余力を融通しあう「T-グリッドシステム*2」を採用したマンションが本年3月に完成します。日本初となる「T-グリッドシステム」を活用した効率的なエネルギー利用の推

SHIZGASでんき 販売初年度目標達成

昨年4月から販売をスタートしたSHIZGASでんきは、初年度目標15,000件を上まわる、16,200件のお申込みをいただきました。

今年度は新規申込件数15,000件、累計30,000件の獲得を目標にしています。地域の余剰電力などを利用した静岡ガスの電力事業を、より多くのお客さまにご理解いただいたうえで選んでいただけるよう、ふれあい巡回などを通じてご案内し、目標達成を目指します。

■電力申込件数(累計)



用語解説

- *1 SOFC型エネファーム：都市ガスから取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させ、電気と熱（お湯）を生成するシステム。エネファームにはSOFC型とPEFC型があり、SOFC型は発電効率が比較的高く、PEFC型は熱回収効率が比較的高い。
- *2 T-グリッドシステム：静岡ガスが東レ建設と開発したマンション内電力融通システム。電力の一括受電と各戸に設置されたエネファームを組み合わせマンション全体で電力を融通する仕組み。

進や次世代エネルギーとして活用される水素を供給する水素ステーションの開設など、高度で先進的なエネルギー利用を通して、地域の活性化にもつなげていきたいと考えています。

マルチエネルギー事業では、熱と電気の最適なバランスで効率を追求するガスコージェネレーションシステム*3のさらなる普及に取り組んでいきます。電力事業を開始したことで、ガスに加えて電気もお届けできるようになっただけでなく、お客さまの工場から出る余剰電力を当社が買い取ることもできるようになりました。お客さまへ提案の幅が広がり、いくつかの工場で採用や検討が進んでいます。また、静浜幹線沿線の開拓や郊外の工業団地など、エリアを越えた新たな需要の開拓も積極的に進めていきます。

LNG基地の活用では、一旦タンクに受け入れたLNGを再度船に積み込む再出荷(リロード)によるLNG販売を、本年2月に初めて実施しました。新たな取り組みに海外のLNG関係者も関心を示し、1月に現地法人化したシンガポール事務所を通じて多くの情報が入るようになりました。流動化が進むLNGマーケットでは、スポット取引の増加や既存契約の柔軟性が拡大するなど、状況は常に変化しています。情報をいち早く捉え、ビジネスチャンスを見出すことで、新たな可能性の追求とLNG調達価格の低減に取り組んでいきます。

再出荷(リロード)による初のLNG販売

本年2月5日に当社袖師基地より、再出荷(リロード)によるLNG販売を初めて行いました。

当社は昨年6月に、シェルグループとLNG販売の契約を締結。今回はその契約による販売となります。

リロード設備を有するLNG基地は日本国内には数少ないため、今後の基地活用において強みの1つとなります。船の輻輳が少ない清水港に立地しているなど、他の強みと合わせ、今後もさらなる基地活用の新たな可能性追求に取り組んでいきます。



用語解説

*3 ガスコージェネレーションシステム: ガスで発電すると同時に、排熱を給湯や空調、蒸気などの形で有効に利用する高効率なシステム。

Q.新たな取り組みについてお聞かせください。

国内のガス事業を通じて培ってきたノウハウや効率的なエネルギーシステムの利用を、今後



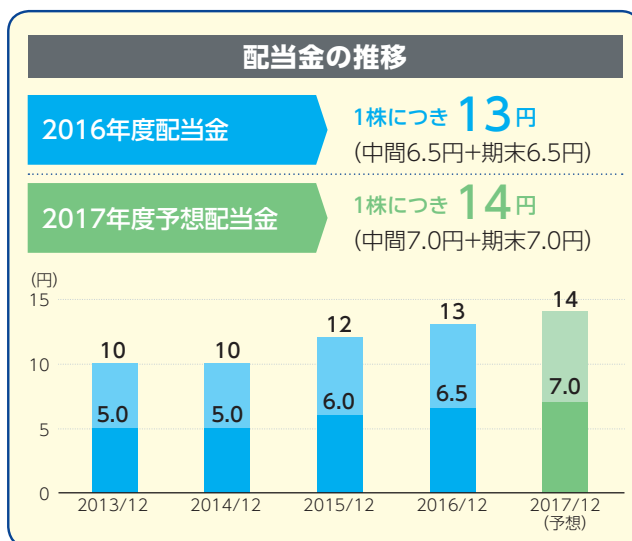
の成長が見込まれる東南アジアにおいて展開することを検討しています。こうした海外での事業展開をはじめ国内でも新たなビジネスチャンスの芽を発掘し、中長期的な視点で事業の拡大を担う事業戦略部を新設しました。

また、最大の経営資源である人材の育成と活用に取り組むため、人事部を独立させました。人が生み出すソリューションを中核として、基地やパイプラインなどの資産を活かしたビジネスモデルを追求し、成長を目指します。

Q.最後に株主の皆さまにメッセージをお願いします。

株主の皆さまの日頃のご支援とご期待にお応えするため、期末配当金を1株につき6.5円(年間配当金1円増の13円)とさせていただきました。当社は将来の成長に向けた投資と財務体質強化のための内部留保を行いつつ、今後も安定的な配当を通じて株主還元の充実に努めると同時に、着実な利益成長による株主価値の最大化にグループをあげて取り組んでまいります。昨年は電力事業への参入をはじめ、新たなくらし商材やサービスの提供を開始し、ガスの供給者という一本足打法から脱却するための第一歩を踏み出した年となりました。今後もお客さまとのつながりをさらに強めるとともに、成長に向

けた新たなチャレンジを続けてまいります。株主の皆さまには、引き続き格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

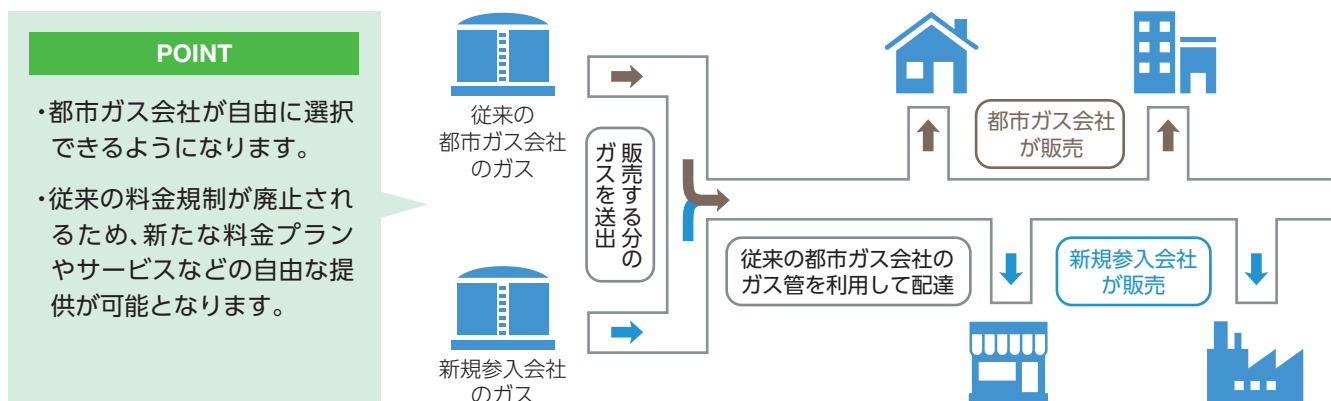


都市ガス小売自由化スタート

2017年4月から、都市ガス小売が全面自由化となります。都市ガス事業は1995年から段階的に自由化されてきましたが、今回の小売自由化により規制は全てなくなります。

自由化でどう変わる？

都市ガスを利用しているお客さまは、地域の従来の都市ガス会社以外に新規参入のガス会社とも契約ができるようになります。既存のガス導管をそのまま利用できるため、新たな工事は必要ありません。(都市ガスをご利用の場合)



POINT

- ・都市ガス会社が自由に選択できるようになります。
- ・従来の料金規制が廃止されるため、新たな料金プランやサービスなどの自由な提供が可能となります。

今回の自由化で新たに対象となる主なお客さま

年間契約数量が**10万^m**未満のお客さま

※年間契約数量10万^m以上のお客さまはすでに自由化されています。



お答えします！ ガス小売自由化 Q & A



Q 静岡ガスを継続利用するつもりですが、手続きなどは必要でしょうか？

A 特にお手続きの必要はありません。



Q 庭先でガス漏れかも、どうしたらいいのでしょうか？

A ガス漏れ等の緊急時は、これまでどおり地域の都市ガス会社(静岡ガス)までご連絡ください。



Q ガス器具の定期点検は誰がやるの？

A ガス器具の定期点検は、ご契約のガス小売事業者が行います。



お客さまともっと強くつながるため、 新たなくらしサービスを開始

昨年はSHIZGASでんきをはじめ、省エネ家電リース、駆けつけサービスなど様々なサービスをスタートさせました。今後もお客さまの近くで頼られる存在を目指し、新商材やサービスを活用したソリューション提案を行っていきます。

新サービス 家庭用ガス機器延長保証サービス「備えあれば憂いなし」

メーカー保証が終了したコンロや給湯器の保証期間を延長し、故障した際の修理代金が無料になるサービスです。現在お使いの機器や他店から購入された機器でもこのサービスをご利用いただけます。

※ご契約は、静岡ガスをご利用中の持ち家（戸建住宅、分譲マンション）のお客さまが対象となります。

対象機器

- ガスコンロ 月々税別 95円から
- ガス給湯器 月々税別 280円から

お問い合わせ先

お客さまコンタクトセンター



0570-020-161



リニューアル 静岡ガスWebサイトをリニューアル

お客さまにより見やすく、使いやすい情報発信の場を目指し、静岡ガスWebサイトをリニューアルしました。

ご利用の多い家庭用のお客さまに向けた情報を中心に、新たな商品やサービス内容を掲載しています。スマートフォンやタブレット端末にも対応し、より多くのお客さまへ静岡ガスの商品やサービスに関する情報を入手いただけます。



静岡ガス

検索

静岡県内初のオンサイト式水素ステーション完成

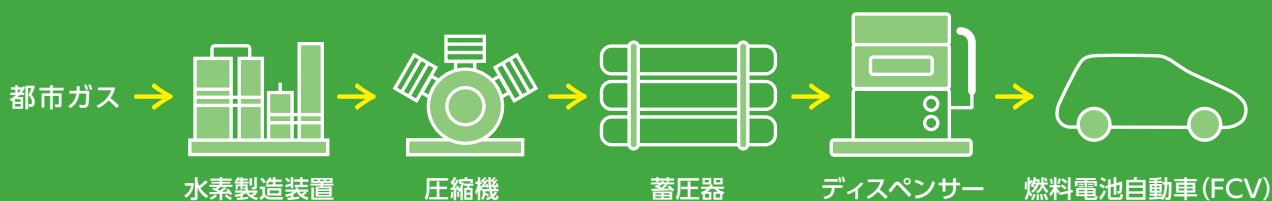
低炭素社会の実現に向けた取り組みの1つとして、静岡市内に建設を進めてきた水素ステーション静岡が3月から営業を開始しました。

水素ステーション静岡では、現地で水素を製造するオンサイト式が採用されており、都市ガス(天然ガス)から水素を製造します。燃料電池自動車(FCV)への水素供給のほか、事務所に電力を供給する純水素燃料電池や燃料電池バイクへの利用など、幅広い分野での水素活用に取り組みます。



- ・静岡県内初のオンサイト式水素ステーション
- ・燃料電池バスも利用可能な広めの構内レイアウト
- ・パナソニックの純水素燃料電池により事務所に電力を供給
- ・スズキが開発した燃料電池バイクへも充填可能

オンサイト式水素ステーションの仕組み



水素社会の実現に向けた三者による包括連携を締結

静岡市、パナソニック、静岡ガスは「静岡型水素タウン」の実現に向け、三者による包括連携協定を締結しました。

静岡市は地球温暖化対策や産業振興などの観点から水素エネルギーを活用したまちづくり「静岡型水素タウン促進事業」を重点事業として位置付けています。

この協定により、官民での強固なパートナーシップを構築し、各種研究開発等を進めるとともに、「静岡型水素タウン」を推進することで地域経済の活性化、環境性の向上に取り組んでいきます。



株主スクエア

NEWS

2017環境報告書を発行

静岡ガスの環境への取り組みを記載した2017年環境報告書を4月に発行します。

環境を考え、Webでの配信となります。



URL <http://www.shizuokagas.co.jp/about/envi/index.html/>

近くて頼れる静岡ガスの新テレビCM放送中

静岡ガスが目指す姿「近くて頼れる地域No.1ソリューション企業グループ」を伝えるテレビCMが完成し、静岡県内で放送中です。CMでは当社の商品やサービスを表す架空の人物“SHIZGASさん”が、お客さまの暮らしにいつでも寄り添うイメージを描いています。

当社Webサイトからもご覧いただけます。

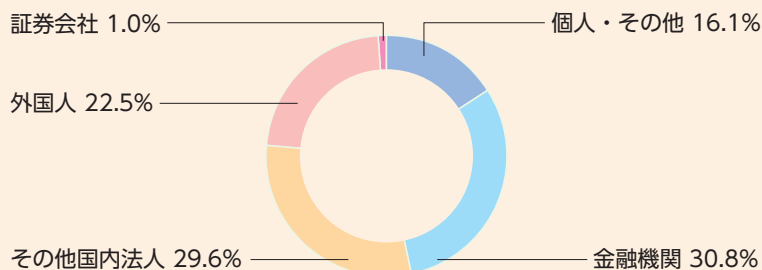


URL <http://www.shizuokagas.co.jp/about/corporate/tvcm/sp/index.html/>

株式の状況 (2016年12月31日現在)

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	76,192,950株
株 主 数	3,186名

所有者別株式分布状況



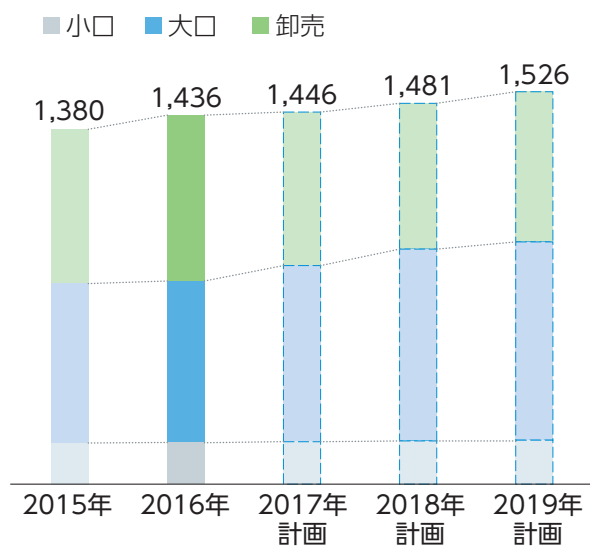
アンケートのお願い

同封のアンケートはがきで、ご意見・ご感想をお聞かせください。

2016年12月期業績ハイライト

ガス販売量(個別)

(単位:百万m)



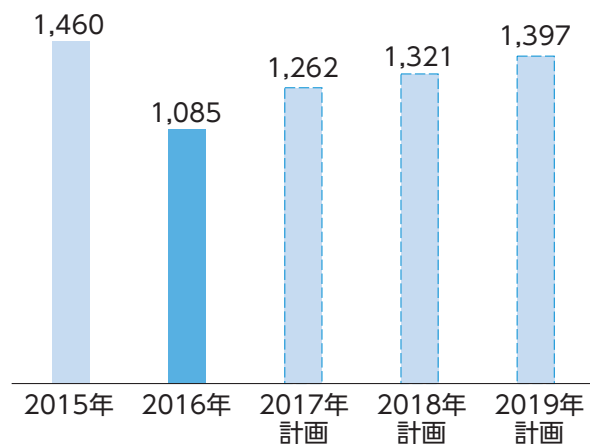
(単位:百万m)

	2015年	2016年	2017年 計画	2018年 計画	2019年 計画
卸売	600	645	597	567	584
大口	620	629	685	746	771
小口	160	161	165	168	171
合計	1,380	1,436	1,446	1,481	1,526

今期のガス販売量(個別)は、卸売の増加や大口のお客さまの稼働が増加したことなどにより、前期比104.0%の14億36百万m³になりました。

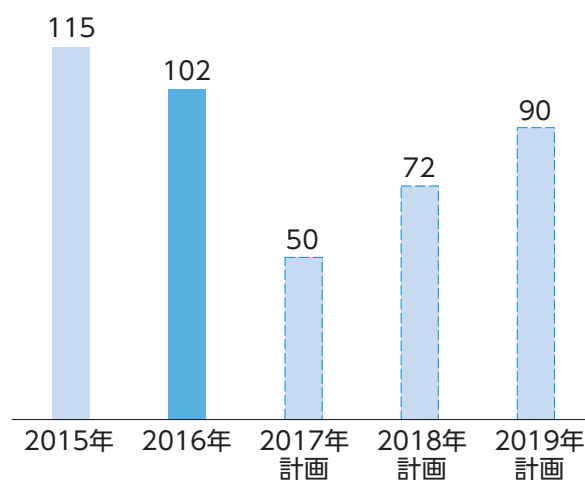
売上高

(単位:億円)



営業利益

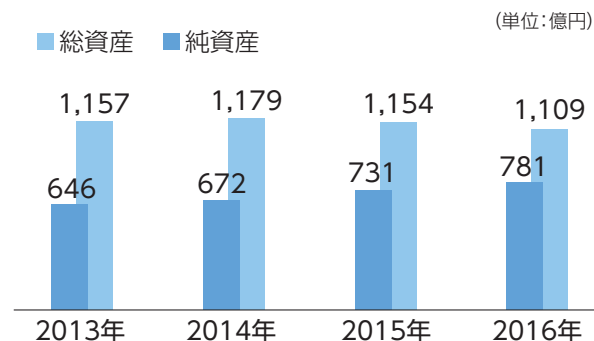
(単位:億円)



売上高は、原料費調整制度によるガス販売単価の下方調整などから、前期と比べて375億円減少しました。営業利益は、原料価格の低下がガス販売単価に反映されるまでのタイムラグによる影響があり、前期と比べて13億円の減少となりました。

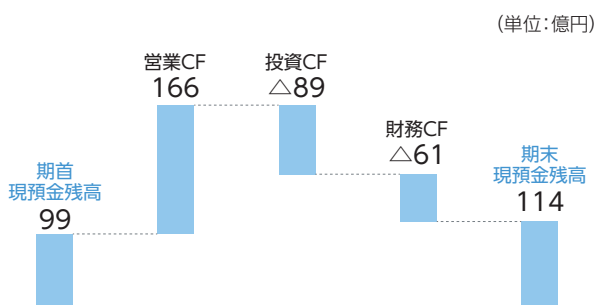
※2017年から2019年の計画は、為替レート115円/\$、原油価格(CIF)55\$/bblを前提としています。

総資産・純資産



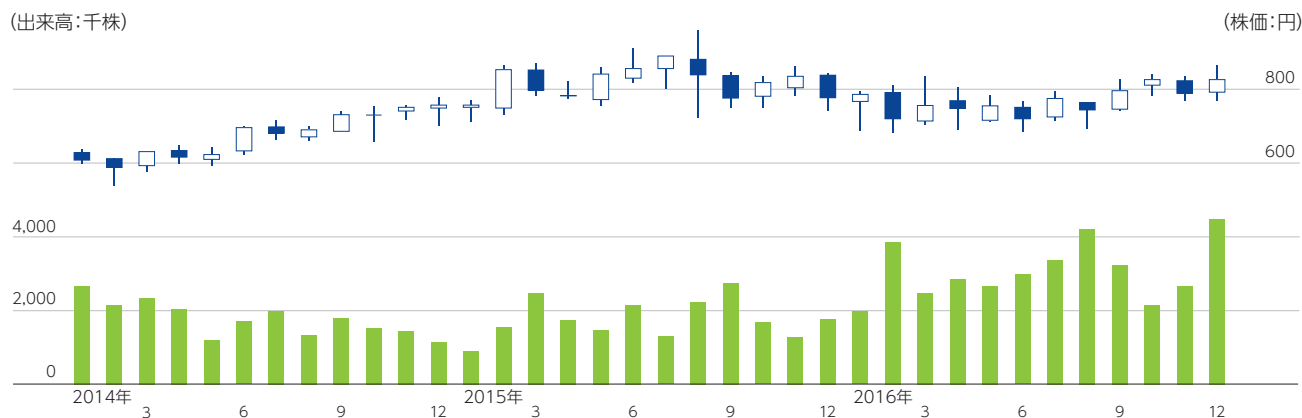
総資産は、既存設備の減価償却が進んだことや販売価格の低下による売掛金の減少などから、前期末に比べて減少しました。
純資産は、利益計上などにより増加し、自己資本比率は63.6%となりました。

キャッシュ・フロー(CF)



営業CFは、減価償却前利益が207億円となり、未払消費税の減少などにより166億円の収入となりました。
投資CFは、ガス導管網の拡張・整備やLNG再出荷(リロード)設備の建設などにより、89億円の支出となりました。
財務CFは、借入金の返済や配当金の支払などにより、61億円の支出となりました。

株価チャート



詳しい情報は静岡ガスのIRページへ

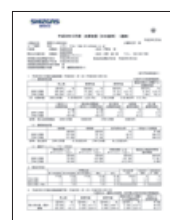
詳細な財務情報のほか過去の各種報告書をご覧ください。

静岡ガスIR

検索



▲ファクトブック



▲決算短信

会社概要

会社名 静岡ガス株式会社

設立 1910年(明治43年)4月16日

資本金 6,279百万円

取締役および監査役

代表取締役 取締役会長 岩崎 清悟

代表取締役 取締役社長 戸野谷 宏

取締役 専務執行役員 岸田 裕之 遠藤 正和

取締役 常務執行役員 勝又 茂 杉山 昭弘
小杉 充伸社外取締役 野末 寿一 金井 義邦
中西 勝則

常勤監査役 上田 直弘

社外監査役 丸野 孝一 中井 元

執行役員(取締役兼務者を除く)

望月 敏弘 町野 文重
中井 俊裕 吉兼 正哲
執行役員 杉山 武靖 伊藤 晴生
大塚 弘之 金田 裕孝
村井 陽一

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 3月下旬

基準日 定時株主総会・期末配当 12月31日
中間配当 6月30日株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
〒103-8670
東京都中央区八重洲一丁目2番1号郵便物送付先 みずほ信託銀行 証券代行部
〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号

電話照会先 ☎0120-288-324(フリーダイヤル)

電子公告により公告します。
(<http://www.shizuokagas.co.jp/>)
*ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告をすることができない場合は、日本経済
新聞に掲載します。

1単元の株式数 100株

証券コード 9543

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設された株主さまは、三井住友信託銀行(フリーダイヤル:0120-782-031)にお申し出ください。

●未払配当金のお受取先について

みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店・全国各支店にてお取り扱いいたします。(みずほ証券では、取り次ぎのみとなります。)

●その他のお問い合わせ

静岡ガス コーポレートサービス部 総務担当
☎054-284-4153

くらしを考え、明日をつくる。

SHIZUGAS
静岡ガス

静岡ガス株式会社

静岡市駿河区八幡一丁目5番38号
TEL: 054-284-4141 FAX: 054-283-1724
<http://www.shizuokagas.co.jp/>